

検査のことならおまかせ 「臨床検査技師」

患者さんと直接、接する機会が少ないですが、裏方としてお役に立てるように活動しています。

こんな時は
頼って下さい!!



- ❓ 検査結果について聞きたい
- ❓ 院内での肝炎ウイルス検査の陽性率は？
- ❓ 肝炎の検査は受けられますか？

<連携のタイミング>

採血～検査結果の拾い上げなど検査の事なら何でもご相談ください

臨床検査技師ってこんなお仕事です！

- ① 検体検査…血液や尿など人から採取した検体を検査します。
- ② 生理学的検査…超音波検査、聴力検査、呼吸機能検査、心電図、脳波検査等を行います。
- ③ 検体採取…採血なども行います。
- ④ 啓発活動・肝臓病教室での検査の説明…市民公開講座や啓発イベントで検査結果の見方などを伝えます。
- ⑤ 検査結果の拾い上げ…検査結果から、知りたいデータを抽出します。

臨床検査技師の活躍フィールド

病院の検査室、健診機関以外にも、術中モニタリング、
病理部での組織診や細胞診、内視鏡室でも活躍しています！

臨床検査技師の肝Co 活動事例

はじめの
第一歩!

検査待合室にポスターやチラシ、フラッグを設置

採血の待ち時間は患者さんにとって落ち着かない時間となります。その時間を活用して気を紛らわすようなポスターやパンフレット、学会で発表したポスターを掲示することで啓発につなげています。簡単な体操などのポスターを貼ると、それを見ながら体を動かす患者さんもいらっしやいます！患者さんからは話しにくいので、ポスターを見ている人に積極的に声をかけましょう。

こんにちは！
いまポスター
ご覧になって
いましたよね！

無料検査って
どこで？



こんな
活動も!

患者さんと直接会うことが少ない職種ですが、影の立役者として活動できます！

ホップ★

検査結果から肝炎ウイルス陽性者を拾い上げる

検査結果が集まる検査部では肝炎ウイルス陽性者を把握できます。まずは自分の病院にどれくらい陽性者がいるか確認してみることから始めてみては？

採血時の止血時間に肝炎の話を持ちかける

採血の止血時間は黙っているより、肝炎ウイルス検査の案内をして、家族の方にもお勧めしてくださいね！と声をかけてみましょう。

ステップ★★★

FIB-4 Indexの計算結果を検査結果に反映させる

FIB-4 IndexはAST、ALT、血小板の結果と年齢が分かれば算出可能です。計算システムだけ構築すればよいので、思っているより導入のハードルは低いかもしれません。

拠点病院等からの案内があれば、院外の啓発活動にも参加してみる

イベントに参加することで、啓発に直接関われるだけでなく多くの肝Coと出会うきっかけになります。ぜひ仲間づくりに参加してみてくださいはどうか？

ジャンプ★★★★

検査結果を活かすためには他職種の肝Coと連携する

検査結果を抽出後、陽性だけでなく陰性であってもその結果を患者さんに還元することは重要です。還元するには、患者さんと接することの少ない検査技師だけでは難しいですね。だからこそ、他職種と役割を分担する体制を整えることが重要になります。

無料肝炎ウイルス検査を行う体制づくり

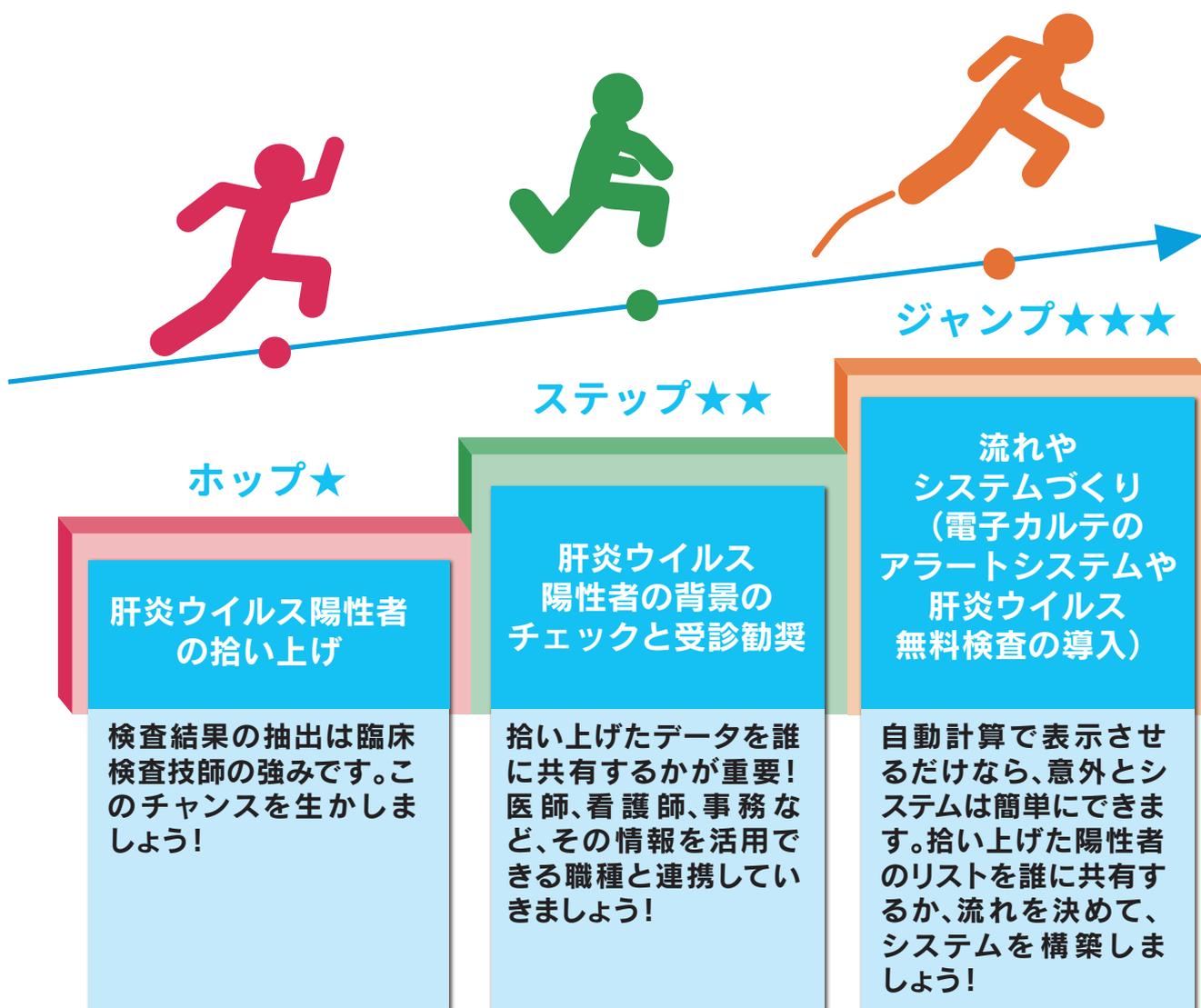
無料検査を自施設に導入するためには、コスト面や医療安全面から病院管理者の理解を得ることで体制が整った施設もあります。

検査データは命を守る結果！ 是非肝Co活動に活かしましょう！

拾い上げがうまくいっている病院は検査技師の活躍が肝！

検査結果をいち早く知り、そのデータを保管しているからこそ、肝炎ウイルス陽性者を拾い上げることができます。拾い上げから多職種と連携をすることで、活動は広がります。検査を外注している病院でも、検査結果を確認して、拾い上げはできますよ。

検査を最初に見る職種の強みを生かす



患者さんの知りたい事は、検査結果の見方！！

患者さんにアンケートを取ると、治療のことに続き、検査結果の見方は関心の高い項目です。臨床検査技師だからこそ、検査の結果を伝えることも大事な役割です。肝臓病教室などをきっかけに検査結果の見方について患者さんに伝えてみてはいかがでしょうか？



先輩肝Co臨床検査技師からのアドバイス

✓ 活動のコツは上司の理解と仲間づくり

まずは検査技師長へのアプローチからはじめましょう！

上司の理解を得ることで活動しやすくなります。肝臓専門医に相談するのも近道のひとつ。他職種の肝Coがいたら、まず声をかけてみましょう！

無料検査を導入するメリットは病院にも！
病院にどれだけ貢献できるのかで、病院側の理解も得やすくなります。

✓ 患者さんとかかわる機会が少ないからこそ、多職種の仲間を作ろう！

患者さんと密接にかかわる機会が少ないからこそ、多職種の仲間を作り、連携することで、情報も活用でき、肝Co活動も広がります。

<仲間を作るきっかけ>

職種にこだわらず、仲の良い人に声をかける／イベント参加

✓ 健診現場では、事務、看護師、保健師等と連携して、陽性者を精密検査につなげましょう！

精密検査の結果通知文だけでは陽性者を受診につなげられないこともあります。だからこそ、健診の場にいる時のアプローチが重要です。

陽性者の方の自宅近くの肝臓専門医がいる病院を紹介したり、予約をとるなど確実に受診につなげることもできます。

その際は、事前に地域の肝臓専門医がいる病院との連携も大事ですね。

あなたの行動がきっかけで、患者さんの命を守れるかもしれません。
そう思えば、今すぐにでも動き出したくなりませんか？

